

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
令和4年度 1月号
令和5年1月17日発行



あけましておめでとうございます。

昨年中、保護者の皆様には、本校教育に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

いよいよ令和4年度の3学期がスタートし、始業式の日には、児童たちが元気な挨拶とともに登校して来ました。児童の澁瀨とした姿を見て、

大変喜ばしく思っています。

とはいえ、新年早々、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症について油断のできない状況です。本校でも、感染防止対策をしっかりと行い、児童の学びを止めることのないよう努力してまいりますので、保護者の皆様には昨年同様児童たちの健康管理にもご協力くださいますようお願い申し上げます。

「1年の計は元旦にあり」といいますが、児童たちは新年を迎え、新たに「目標」を設定し、1年をスタートしてくれたことと思います。一人一人の児童の目標がしっかりと達成できるように、私たち教職員も心を一つにして支え、励ましていきたいと思っています。

ところで、児童たちは冬休みの間にたくさん本を読んだようです。多くの児童が読書を楽しみ、ゆったりと沈思黙考する時間を大切にしてくれていることを嬉しく思います。と同時に、仕事にかまけて自分の読書量が少なくなっていることを情けなく思いました。

「読書は大切だ。未知の世界が広がっているよ」とか「勉強は大切だ。自分を豊かにしてくれるから」と口で言って聞かせ児童たちに読書や勉強を強要しても、その言葉は児童の耳に空疎に響くだけです。大人自身が読書や学びを楽しむ姿をしっかりと児童に見せることができない限り、児童の心の奥底にまでその言葉が届くことはないでしょう。

年頭に当たり、私も児童に負けられないように、読書や学びにもっと励もうと決意している次第です。

3学期が始まります

学校において3学期というのは、1年のまとめをする重要な時期であるとともに新しい学年度に向けての準備期間でもあります。そういう大切な意義があるのに、とても短くて、意識的に過ごさなければ、瞬間に終わってしまう学期でもあります。

2月には文化祭があり、それに向けての準備もそろそろ始まっています。3月には6年生の卒業式も控えています。どの学年の児童も現学年の仕上げと次学年への準備のために心を引き締めて取り組んでもらいたいと願っています。

2学期末の個別面談での話をもとに、それぞれの児童がしっかりと課題や目標をもって、この3学期を有意義に過ごしてもらえるように、私たち教職員も力を尽くすつもりです。

ご家庭でも児童たちをしっかりと励ましてやってください。

1～2月の学校行事

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
1月	18	水		2月	5	日	
	19	木	がん教育講演会（5、6年）		6	月	
	20	金			7	火	第4回キャリア教育講演会（5、6年）
	21	土	学校見学会		8	水	
	22	日			9	木	
	23	月			10	金	
	24	火	中学部進学予定者手続き（第1回）		11	土	建国記念の日 週休日
	25	水			12	日	高等部卒業式（家庭学習日）
	26	木	小中高臨時育友会役員会		13	月	2月12日の振替休日
	27	金	午前授業		14	火	
	28	土	C日程小学部入試（家庭学習日）		15	水	
2月	29	日		3月	16	木	
	30	月			17	金	
	31	火			18	土	感謝祭・文化祭
	1	水			19	日	
	2	木			20	月	
	3	金	いじめアンケート		21	火	
	4	土	2月11日の振替休日				

※1月27日（金）は入試準備のため午前授業（土曜校時）です。

なわとび検定

体育の授業でなわとび検定が始まりました。児童たちは一つでも級を上げようと、一生懸命練習しています。小学部卒業までに名人になれるよう頑張っています。



白菜の収穫（3年生）

1月11日（水）に3年生が白菜の収穫をしました。9月から一生懸命育ててきた結果、とても立派な白菜を収穫することができました。児童たちは、予想以上に大きな白菜を収穫することができて、大満足の様子でした。



コンクール受賞者発表

児童の作品が、各コンクールで受賞しました。誠におめでとうございます。

●令和4年度「少年の主張（香芝市）」

優秀賞 6年1組 柴田 凛（しばた りん）
「患者さんの心をいやす看護師になりたい」
優良賞 5年2組 辻村 桜（つじむら さくら）
「本の世界を世界中に」

●第72回全国小・中学生作文コンクール（読売新聞社主催）

優秀賞 6年2組 鈴木 ともか（すずき ともか）
「平和を願うサイレンの音」

●第35回国際平和ポスターコンテスト

入選 6年1組 藤田 清音（ふじた さやね）
5年1組 庄田 華那（しょうだ かな）
佳作 6年2組 金村 祐輝（かねむら ゆうき）

●第51回J A共済奈良県小中学生書道コンクール

半紙の部 金賞【教育長賞】 3年1組 氏本 りら（うじもと りら）
銅賞【農協理事長賞】 6年1組 原田 実子（はらだ みこ）
佳作 5年1組 庄田 華那（しょうだ かな）

条幅の部 佳作 6年1組 原田 実子（はらだ みこ）
5年1組 和田 諒子（わだ りょうこ）
3年1組 氏本 りら（うじもと りら）

●第68回青少年読書感想文 奈良県コンクール

毎日新聞社賞 3年1組 大林 莉々果（おおばやし りりか）
「ため息は最後には笑顔をつれてくる」
県学校図書館協議会賞 4年1組 辻 夏蓮（つじ かれん）
「ためいきをついたその先」
佳作 5年1組 和田 諒子（わだ りょうこ）
「ぼくの弱虫をなおすには」
1年1組 野村 航平（のむら こうへい）
「すうがくでせかいをみるのをよんで」
1年2組 久保 桜萌（くぼ さほ）
「『すき』をとおしてみるせかい」

●第66回全国学芸サイエンスコンクール

理科自由研究部門努力賞 6年1組 藤田 清音（ふじた さやね）
「かき氷のおいしさを追求する」

●第71回記念石上神宮奉納書初大会

準特選 6年1組 原田 実子（はらだ みこ）
入選 4年2組 島本 寧々（しまもと ねね）
3年1組 ハ手又 涼耶（はてまた さや）

折り紙検定

開校当初から、奈良カレッジの児童は折り紙に熱中する子が多く、通学時の電車で静かに折り紙を折る児童の姿は、今も昔も変わらない風景です。そんな児童の要望に合わせ、開校4年目に、クラブ活動として折り紙クラブが作られ、その後、全児童が参加できる折り紙検定へと発展してきました。

もともと折り紙検定とは、簡単な折り紙を含めた「基本コース」からスタートし、児童のリクエストにより「花コース」「つるコース」などが増えていきました。さらには、高度な折り紙作品を折ることができる児童が現れ、それらの児童による「犬コース」「オリロボコース」などが追加され、現在は全9コースの検定に挑戦することができます。

検定は、折り図を見ることなく作品を作り上げ、担当教員の審査を経て合格となります。それぞれのコース内全ての折り紙で合格すると、名人メダルを獲得できます。

毎週金曜日の昼休みに折り紙検定を開催し、それ以外の昼休みは折り紙教室を開いています。忍耐力や思考力を養うため、ぜひ参加をお待ちしています。



図書室からのおすすめ

冷えた空気が、じりじりと頬をさすように痛く、やわらかな日の光が恋しい日々、心がほっこり温くなる物語を紹介します。ぜひ読んでみてください。

●1年生から3年生向け

「とっておきの詩」

（作）村上 しいこ （絵）市居 みか （出版社）PHP研究所
（内容紹介）

冬休みに「詩」をつくる宿題が出たつよし。

ずっとずっと考えて、けっこう面白いと思った詩ができたけど、母ちゃんに怒られボツになってしまった…。

とうとう冬休み最終日。つよしは、とっておきの詩を作ることができたのでしょうか。ユーモラスな詩が笑いを誘う「とっておきのどうわ」シリーズ。2010年青少年読書感想文全国コンクールの課題図書に選ばれた1冊です。



●4年生から6年生向け

「ナミヤ雑貨店の奇蹟」

（作）東野 圭吾 （出版社）角川文庫
（内容紹介）

店主が亡くなり、閉店したはずのナミヤ雑貨店に悩みが書かれた手紙が投稿される。悪事を働いて偶然ナミヤ雑貨店に逃げ込み、返事を書くことになった少年たち。手紙の中には、明らかに時間の経過した出来事が書き込まれているものもある。相談に乗ることで、3人の少年たちの人生が変わりだす。

時空をこえて、さまざまな人物たちがつながっていく心温まる5つの物語。ミステリーで有名な東野圭吾さんのファンタジー小説です。

